
スマブラ×脱出ゲームDERO!

ワーグナー

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

スマブラ×脱出ゲームDERO！

【Nコード】

N2759Q

【作者名】

ワーグナー

【あらすじ】

マリオ、ルイージ、ワリオ、ファルコン、スネーク、ガノンドロフらが、DERO！に挑戦！！果たして、脱出成功なるか！？

始まり(前書き)

始まるよー!!!

始まり

真っ暗な会場に着いたスマブラメンバー6人。

マリオ「ここだな、会場は……。」

ルイージ「そうみたいだよ……。」

スネーク「薄暗い所だ……。」

すると、突然、電気が付いた。

ワリオ「うおっ！！眩まぶしいっ！！！」

すると、モニターから声が聞こえて来た……。

????「ようこそ、いらっしやうい！！！」

マリオ「あっ、テレビで見たことあるぞ！！！」

ファルコン「おっ、管理人じゃないか!？」

頭に管理人という文字を紙袋に書いた人物……。

彼こそが、管理人だ。

管理人「その通りっ！！スマブラメンバーで、ゲームをするために、呼んだ訳なんだけど……。あれ?なんで、君達6人なの?」

6人とは、マリオ、ルイージ、ワリオ、ファルコン、ガノンドロフ、スネークのことだ。

マリオ「いやあ、それがさ、クレイジーがハワイ旅行を当てたんだよ……。」

ルイージ「それが、団体のお客さんは、40名までって書いてあったんだ……。」

~~~~~

数日前

クレイジー「見事に、俺が、ハワイ旅行を当てたんだが……。40人までなんだ。俺達を合わせるとスマブラメンバーは、46人。6人行けない!!」

マスター「そこで、俺達は、留守番の人を考えた。子供達は、経験が必要だから連れて行く必要がある。ドクターや、ロボットは、緊急時に役立つ。」

クレイジー「イケメン軍団は、ナンパがされやすいからOK、女性陣は置いて行くと怖いから連れて行く。」

マスター「残った奴は、適当にジャンケンで決めてくれ……。」

全員「……。」

そして、ジャンケンをした……。

~~~~~

マリオ「・・・で、残ったメンバーがこの6人だ・・・。」

スネーク「だから、他のメンバーは旅行中なんだ。」

ガノンドロフ「留守番中に、この番組のオフアアが来てここに来た・・・って訳だ。」

管理人「・・・そうなんだ・・・色々大変だね・・・。」

6人「そっだよ・・・。」

管理人「だけど、そんな暗い顔しないで、ゲームをして盛り上がりましょーう!!」

6人「イエーイ!!!!!!」

管理人「切り替え早いな、オイ。」

マリオ「特に、俺は、リーダーとして、頑張らないとな。」

スネーク「おい、いつからリーダーになったんだ。まあ、別に良いが・・・。」

管理人「さて、今回は、団体戦で、スマブラメンバーVSゲストチームの戦いを行います!!」

ワリオ「おい、ちょっと待て!!!ゲストチームって誰だよ!!!」

管理人「え？他の作者さんだよ。」

6人「え〜〜〜〜〜〜！！！！！！！！！！？？？？？？」

管理人「・・・という訳で、この番組に出たい人を大募集です！！」

ルイージ「まだ、募集してないんだ・・・。」

管理人「詳しくは、活動報告まで〜！！」

始まり（後書き）

リクエスト待ってます!!

参加者の登場（前書き）

いよいよ参加者が、管理人達の元へ・・・。

参加者の登場

マリオ「全く・・・まだかよ・・・。」

管理人「来た、来た来たよ！！！」

12人「どうも！！！！」

応募したメンバー12人がやって来た。

管理人「あと、6人を選ぶっていう話あったけど、作者が可哀想だからって、リクエストキャラ全員出すんだって 全く、行き当たりばったりな、作者さんだ・・・。」

ルイージ「ルール変えまくりじゃん・・・。」

管理人「あと、チームも変更になって、マリオチームと、スネークチームに分かれるよ！！！」

全員「へ！？」

管理人「スマブラメンバーと作者さん達が、一緒にゲーム出来た方が楽しいかな」と思って

全員「まあね・・・。」

管理人「チーム分けは、ご覧の通り！！！」

マリオチーム

マリオ

ルイージ

ガノンドロフ

小河健太 (AK-48Kさん)

D - JUN

リリカルシヨールバイ

さきぼん

翡翠煉

ゆうやん

スネークチーム

スネーク

ファルコン

ワリオ

スイツクン

k

ウイング

フォルト (マリオさん)

シドリレイター

i k k i

9人ずつに分かれることになった。

管理人「では、団体戦の、ルールをご説明します!!」

スネーク「まだ、開始しないのかよ……。」

管理人「両チームが、全ての間に挑戦し、脱出した人数がそのままポイントとなります!!合計ポイントが高いチームの方が、勝ちです!!」

つまり、1つのステージに両チームともチャレンジするということだ。

ただし、直接対決の棒の間だけは、1人脱出すると、2ポイント貰える。

管理人「それでは、張り切って行きましょーう！ー！！」

全員「いえーい！ー！！！！！！」

今回の対決は……

スマブラメンバーとの豪華共演！！

~~~~~

スイツクン「ええ？分からないよ！ー！どうやって解くの？」

k「さ、さあ……ど、どうなんだろう……分からない！ー！！」

パニくる挑戦者達！ー！！

~~~~~

ゆうちゃん「お、おい！ー！穴開きすぎだつて！ー！管理人！ー！おい！ー！！」

ガノンドロフ「背中から落ちるのか……。」

怯える挑戦者……。

~~~~~

リリカルシヨーバイ「ええ？切るの？切っちゃうの？！ー？」

さきばん「多分、それが、答えだと思っんですけど……。」  
悩む挑戦者達!!

~~~~~

こんなバラエティ、見たこと無い!!!!

密室謎解きバラエティ

脱出ゲーム

DERO!

参加者の登場（後書き）

次回、石像の間。

マリオチームの挑戦 1 - 1 (前書き)

いよいよゲームが始まる!!

マリオチームの挑戦 1 - 1

1ST STAGE

石像の間

まずは、マリオチームが挑戦。

挑戦するのは、ルイージ、小河健太、さきぼんの3人。

ルイージ大嫌いコンビの小河とさきぼんは、ルイージと、仲良く出来るか？！？

『それでは、目隠しを外して下さい。』

さきぼん「……うわ！！これだ！！！」

小河「あの石像が不気味だぜ……。」

ルイージ「怖いねえ……。」

小河「類似、うるさい。」

ルイージ「……。」

すると、モニターに管理人の顔が映る。

管理人「マリオチームの皆さん、ようこそ、石像の間へ〜!!」

さきぼん「ルイージ、ビビツたりしたら承知しないからね。」

ルイージ「ヒエエエエ!!」

管理人「あの〜・・・聞ってる?」

さきぼん「あれ? いました?」

管理人「いるよ!! ところで、君達は、本当にルイージのことが嫌いなんだね・・・。」

さきぼん・小河「勿論!!」

管理人「そういえば、小河君は、『ドラえもん おかしな小説』っていうのを書いているんだけど、2010年の10月5日から1日も休まずに投稿してるんだよね!! 凄いよ!!」

小河「えっ、知ってるんですか? 有難うございます!!」

管理人「あと、ドラえもんや、のび太が心配がってたけど・・・。」

小河「何〜!!?? あいつら・・・覚えてる・・・。」

管理人「そして、さきぼん!!」

さきぼん「ハイ!!」

管理人「逃走中小説を2作品を同時に書いてるんだってね！？これも、凄いことだよ！！」

さきぼん「本当ですか！？有難うございます！！機会があれば、皆、見てください！！」

管理人「あと・・・その拳銃は何？」

さきぼん「えっ・・・これですか？類似を・・・いえ、何でもありません！！」

管理人「そっか・・・。(ここは、聞かない方が良いな・・・)では、この部屋のルールを説明します！！」

この部屋から脱出するには、問題に沿って平仮名のブロックを並べて扉を開けていき、3枚目の扉の先にある石像停止ボタンを押して貰います。

そのボタンを押すことができれば、脱出成功。

なお、石像の鼻のボタンを押すと、押した人は、脱出失敗となりますが、パズルを解く時間を稼ぐことができます。

管理人「所で、作戦は、あるの？」

さきぼん「ありますよ！！」

小河「あの、例の作戦だな。」

ルイージ「えっ、何？そんなの僕、聞いてないよ？」

管理人「どんな脱出になるか、非常に楽しみです！！ルイージ、足引っ張るなよ！！それじゃ、バイバイ！！！！」

ブツッ

『ビーコン！！ビーコン！！ビーコン！！』

赤いランプが部屋中に響き渡った。

さきぼん「いよいよ始まるね！！」

小河「頑張ろうぜ！！」

ルイージ「ええっ！？まだ、心の準備が……。」

~~~~~

サポートルーム

シドリレイター「ルイージ、相当ビビってる……。」

フォルト「敵チームが見ても心配になるなあ……。」

ゆうちゃん「仲間割れしなかったら、良いんだけど……。」

~~~~~

『それでは、うつ伏せになってください。』

ルイージ「ひびき!!怖いよ!!」

小河「うるさい。」

ルイージ「……。」

『3秒前、3……2……1……』

ビュゴオオオオ〜ン!!!!

3人「うわああああ!!!!」

~~~~~

サポートルーム

k「ルイージ、凄い顔……。」

翡翠煉「ルイージサイクロンをしているような顔してるな……。」

~~~~~

ガシャン!!ガシャン!!ガシャン!!

ルイージ「ひびき……速いよ!!」

石像「ガア〜!!!!」

プシュ~~~~~!!!!!!

3人「うわあああ!!!!!!」

脱出開始。

果たして、脱出成功となるか?!

マリオチームの挑戦 1 - 1 (後書き)

ちなみに、作者は、爆弾の間が1番好きです。

マリオチームの挑戦 1 - 2 (前書き)

いよいよ、本格的に、始まる!!

マリオチームの挑戦1-2

小河「うおー！石像が動き始めたー！」

さきぼん「早く、問題を解こうー！」

3人は、第1の扉に向かう。

『第1問、さかさ言葉Q。次の言葉を並び替え、左から読むと叩くもの、逆から読むと地名になる2文字の言葉を作りなさい。』

がどいつちがば

小河「2文字・・・分かん・・・。」

さきぼん「『がし』が、出来た・・・。これかな？」

ポチッ

『ブーー！』

さきぼん「あれっ？違う・・・？」

ルイージ「さきぼん、『がし』じゃ、叩くものになってないよ。」

小河「類似は、黙ってる。じゃあ、お前は分かるのか？」

ルイージ「えーっと……。」

小河「ほら見る！！分からないじゃないか！！……にしても、何だ
る？分からん。」

さきぼん「あゝ、こうしてる間にも石像が近づいてくる……。」

ルイージ「あつ、分かった！！『ばち』だ！！」

小河「あつ、太鼓のバチと、千葉か……。」

ルイージ「これで、どうだ！！」

ポチッ

小河（正解するな……。）

『ピンポン、ピンポン』

1つ目の扉が、開く。

小河「おつ、類似、たまにはやるじゃねえか。（チツ……。）」

さきぼん「私が解きたかったのに……。」

ルイージ「(無視)さ、次に、行こう。」

~~~~~

ikk i「あっ、クリアしましたよ!!中々、ルイージ、やりますね。。。。」

D-JUN「意外に、クリアが早かった。」

リリカルシヨール「これなら行けるかもしれませんが!!」

~~~~~

小河「次の問題は・・・?」

『第2の扉は穴埋めクロスQです。共通の言葉が入る 2文字の言葉を埋めなさい。』

改

降 錯

価

かきくけこたちつてと

小河「この には、それぞれ共通する言葉が入るのか。。。。」

さきぼん「選択が『かきくけこたちつてと』って……。」

ルイージ「言ってる場合？考えようよ……。」

小河「あつ、『ち』じゃ、無いのか！？価値とか……。」

ピッ

『ブーー！』

小河「あれ？あ……2文字か……。」

さきぼん「うん……『しん』だと、思ったけど、これじゃあ、降が当てはまらないし……。」

ルイージ「『てき』でも無いね……。」

悩む3人……すると……

『ブーブーー！』

何と、石像が『デンジャーゾーン』に突入！！

このままデッドゾーンに入ると、3人まとめて食べられちゃうぞー！！

さきばん「キャアア！！ヤバイ〜！！だ、誰が犠牲になる？」

小河「近くで、見るとかなり怖……。」

ルイージ「あつ！！分かったよ！！！」

小河「何っ！？本当だろうな？」

ルイージ「『かく』だよ！！改革、錯覚、価格、降格で、ちゃんと言葉になる！！えい！！！」

ポチッ

『ピンポン、ピンポン』

ルイージ「やったあ！！僕も、やる時は、やるんだ！！！」

小河「へえ、そう……。」

第2の扉が開き、3人は、奥へ行く。

~~~~~

フォルト「何だかんだ言ってるルイージ活躍してるね。」

k「頭脳だけは、良いのかな……？」

ルイージ「次が、最後の扉だ!!」

『第3の扉は、有名人並べかえQです。第3の扉を開くには、3つの問題に正解しなくては、なりません。』

ルイージ「ええ〜・・・3問!? ケチ〜・・・。」

『第1問、出されたブロックを全て使い、並び替えて6文字の歴史上の人物の名前を作りなさい。』

たかどよしき

小河「誰だ?」たかどよしき『って?』

さきぼん「小河さん、そのままが答えじゃないんだから。」

ルイージ「歴史上の人物か・・・。誰かな・・・?」

さきぼん「『かしたよどき』・・・いないよね・・・。」

小河「答え何だ〜!?!」

完全に、テンぱる3人。

そこに、

『ビー！！ビー！！』

石像が、デンジャーゾーンに突入！！

ルイージ「分かった！！木戸孝允きどたかよしだ！！」

ルイージは、木戸孝允と並べ替えた。

ポチッ

『ピンポン、ピンポン』

小河「ああ〜！！正解したけど、あと2問解くのもう時間がない！！さきぼん、あの作戦を使うぞ！！」

さきぼん「分かりました！！」

2人は、ルイージを持ち上げた。

ルイージ「えっ、何？何？」

2人「うりゃー！！」

ルイージ「ギャアア！！」

ルイージは、石像の鼻に頭から激突した。

『ビコーン！！』

プシャ~~~~~!!!!

身代わり。

石像「ガアアアア~~~~~!!!!」

石像がどンドン下がっていく。

ルイージ「2人共、酷いよ!!!僕が、全部解いたのに……。」

小河「ご苦労様、それじゃあ」

さきぽん「バイバイ」

ルイージ「こんな終わり方……嫌だ……うわあああああああ  
!!!!!!!」

バグン!!!

プシャ~~~~~!!!!

『ルイージさん、脱出失敗です。』

~~~~~

全員「アハハハハハ!!!!」

大笑いのサポートルーム。

ワリオ「あいつ、可哀想〜。」

~~~~~

小河「よし、パズルの続きだ!!」

さきぼん「一緒に、脱出しようね!!」

散々パズルを解いたが、呆気なく2人に見捨てられたルイージ、脱出失敗!!!

だが、ルイージが、犠牲になったお陰で3mの余裕が出来た!!

この隙に、パズルを解け!!!

『第2問、出されたブロックを全て使い、並び替えて10文字の歴史上の人物の名前を作りなさい。』

へうちはしろいおお

小河「誰だ!?!これ!?!」

さきぼん「……。」

果たして、脱出成功なるか!?

## マリオチームの挑戦 1 - 2 (後書き)

次回までに、さっきの問題が解けるかな？

マリオチームの挑戦 1 - 3 (前書き)

果たして、2人は、どうなる！？

### マリオチームの挑戦 1 - 3

さきぼん「……小河さん、分かりますか？」

小河「『お』が3つ……そして、『はち』……分かった!!大塩平八郎だ!!」

さきぼん「えっ!? 凄い!!」

2人は、『おおしおへいはちろつ』と並べる。

小河「これで、どうだ!!」

ポチッ

『ピンポン、ピンポン』

小河「よっしゃ〜!!」

さきぼん「あと、1問だね!!」

ウイング「おっ、早いなあ〜!!」

D・JUN「これ、2人脱出いけるぞ!!」

~~~~~

残された問題は、あと、1問!!

2人は、無事、脱出成功となるか?!?

『第3問、出されたブロックを全て使い、並び替えて8文字の歴史上の人物の名前と、4文字のあげるものを作りなさい。』

わらとすぶくてやがえいん

小河「うわゝ・・・多いなあ・・・。」

さきばん「これも、歴史上の人物・・・日本史、苦手なのに・・・。」

小河「まず、『あげるもの』ってなんだ？」

さきばん「あげるって言うてもいろんな意味があるよ。上に上げる、例を挙げる、油で揚げる・・・とか・・・。」

小河「確かに・・・でも、その言った中に答えあるか・・・?」

さきばん「『ぶてら』・・・上がるけど、ポケモンだしなあ・・・。」

小河「『ぶてら』ねえ・・・。『ぶてら』『ぶてら』・・・!!!!!!
分かった!!!!」

さきぽん「えっ!?!」

小河「ここには、『ん』もある!?!『あげるもの』は『てんぷら』だ!?!『あげるもの』は、揚げるものだったんだ!?!」

さきぽん「じゃあ、『てんぷら』は、決定だね!?!」

小河「あとは、人の名前か……。」

さきぽん「誰だろう……有名な人だったら、分かるんだけど……。」

小河「慌てるな、よく、考えてみよう……。うん……。」

さきぽん「残った文字は、『わとすくがえい』だよ……。」

小河「『わとすくがえい』……。『わとすくがえい』……。」

『ビュー!?!ビュー!?!』

さきぽん「わっ!?!デンジャーゾーンに!?!」

小河「『わとすくがえい』……。あっ!?!『徳川家康』だ!?!」
とくがわいえやす

さきぽん「『わとすくがえい』……。あっ!?!本当だ!?!」

2人は、順番に並べる。

2人「『徳川家康』、『てんぷら』!?!」

ポチッ

『ピンポン、ピンポン』

小河「よっしゃ~~~~~!!!!!!」

さきぼん「よし、スイッチを!!」

第3の扉が開き、スイッチに近づく。

2人「せーの!!」

ポチッ

石像「シューーン……。」

ガタンッ

2人「……やった……。」

『ステージクリアです。おめでとうございます、脱出成功です。』

2人「やった~~~~!!!!!!」

ガタンッ

小河「おっ、鍵出てきた。」

さきぼん「これで、出られる~~~~!!!!!!やった~~~~!!!!!!」

2人で、見事、パズルを解き脱出成功!!

マリオチーム2ポイント獲得!!

おめでと〜う!!!!

2人「類似が居て、良かった!!」

~~~~~

翡翠煉「おめでと〜う!!」

小河「成功してきましたよ〜!!」

さきぼん「苦労したねえ。。。」

マリオ「いや〜、ルイージの所は、俺らも爆笑だったぜ。」

ガノンドロフ「ナイス判断だったぞ。」

ルイージ「。。。」

すると、モニターに管理人が出てくる。

管理人「いや〜、マリオチームの石像の間、見事、全員脱出おめでと〜う!!!!」

マリオチーム「いえ〜い!!」

スネーク「凄いな……。」

ルイージ「……つて、僕は、脱出失敗したよ!!全員脱出してないよ!!」

管理人「あれ?そうだったけ?」

ルイージ「僕も、ちゃんといたよ!!」

管理人「小河、さきぼん。ルイージは、いた?」

小河・さきぼん「いませんでした。」

管理人「だよね?」

ルイージ「ちよつと〜!!!!!!!!」

管理人「まあ、うるさい奴は、ほつといて次は、スネークチームの挑戦だ!!」

ルイージ「……。」

スネーク「皆、頑張ろうな!!」

スネークチーム「勿論!!」

管理人「今、ミカズキさんを呼んだから。後は、宜しく!!」

そう言うと、管理人のモニターが消え、ミカズキがやって来た。

ミカズキ「どうも、それでは、挑戦者を次の間まで案内します！」

ikkii「えっ！？ミカズキさんが何でここに？」

ミカズキ「ikkiiが、出てるって聞いたから」

ikkii「そ、そうなんだ……。」

ミカズキ「皆さん、次も頑張ってくださいね」

現在、

マリオチーム2ポイント

スネークチーム0ポイント

と、なっている。

勝つのは、果たして！？

マリオチームの挑戦 1 - 3 (後書き)

次回、スネークチームが石像の間に挑戦!!

楽しみに!!

スネークチームの挑戦1-1(前書き)

やっと、更新出来ました・・・。

## スネークチームの挑戦 1 - 1

石像の間

続いてはスネークチームの挑戦

挑戦するのは、ファルコン、k、スイツクンの3人。

反射神経が良いファルコン、謎解きが得意なk、そして、ユニークな性格を持ったスイツクンという個性豊かな3人。

脱出成功となるか!??

ミカズキが、3人を連れて行った後、ガシャンと、扉が閉まる。

ミカズキ「皆さん、頑張ってください」

『目隠しを外して下さい。』

スイツクン「うわ!!!あの石像、結構大きいんだ。」

k「ここに来るとやっぱり緊張するね……。」

ファルコン「レースより怖いかもしれねえな……。」

すると、モニターに管理人が映る。

管理人「スネークチームの皆さん、ようこそ、石像の間へ〜!!」

k「あつ、管理人だ。」

管理人「いやあ〜、それにしても、kの逃走中小説は、凄いねえ。特に、挿絵がある所。大変じゃない?」

k「ええ、でも逃走中のことを考えると全く苦じゃないんです。」

管理人「良いよ〜!!その心構え、その気持ち大切だよ!!そして、スイツクン!!」

スイツクン「……。」

管理人「あれ?スイツクン!!」

ファルコン「お、おいスイツクン。呼ばれてるぞ。」

スイツクン「……え?あつ、ハ、ハイッ!!」

管理人「おいおい……大丈夫?……まあ、それは、置いといて、スイツクンは、チビヨッシーの作品を主に書いているようだね。」

スイツクン「あ……ハイ、そうです。」

管理人「チビヨッシー達……心配してたけど、大丈夫?」

スイツクン「ハ、ハイ……多分……。」

管理人「本当に大丈夫？そして、ファルコン！」

ファルコン「おう、何だ？」

管理人「ミカズキに頼んで、技は出せないようにしておいたから。」

ファルコン「そうなのか？でも、何故？」

管理人「そのファルコンパンチで、壊されないようにするため。」

ファルコン「そうなのか……。俺って、そんなに、信用無いのか？」

管理人「まあ、3人とも頑張っつて！！バイバイ！！」

ブツッ

『ビーコン！！ビーコン！！ビーコン！！』

赤いランプの音が部屋中に響き渡る。

k「ついに、始まった……。」「

スイツクン「怖いなあ……。」「

~~~~~

スネーク「ついに、始まるな！！」

ウイング「頑張れ〜!!」

フォルト「皆、ファイト!!」

ルイージ「あゝ．．．石像の間なんて、見たくない．．．。」

マリオ「ルイージ、元気出せって。そんなルイージのために、矢部野和麻呂さんが、カツ丼を送ってくれたぞ。」

ルイージ「うぐう．．．矢部野さん有難う．．．。」

カツ丼を食べ始めるルイージ。

小河「俺らのは?」

ガノンドロフ「無いらしいぜ。」

さきぼん「類似、ズルイ．．．。」

~~~~~

『それでは、うつ伏せになってください。』

ファルコン「．．．来るぞ。」

k「ハイ．．．。」

『3秒前、3．．．2．．．1．．．』

ズビュゴオオオ〜ン!!!!

3人「わあああああ!!!!!!」

石像の目の前まで来る3人。

スイツクン「こんなに、速いの!？」

ガシャン!!ガシャン!!ガシャン!!

k「予想以上に、速かった・・・。」

石像「グアアア〜!!!!」

プシュ~~~~~!!!!!!

3人「わああああ!!!!!!」

脱出開始。

k「うわあ、石像が動き始めたよ!!」

ファルコン「とりあえず、パズルを解くんだ!!」

第1の扉に向かう3人。

『第1問、さかさ言葉Q。次の言葉を並び替え、左から読むと飲み物、逆から読むと果実になる3文字の言葉を作りなさい。』

らるんけくもみ

3人「・・・。」

果たして、どうなる!?

スネークチームの挑戦 1 - 1 (後書き)

次回までに、解けるかな？

え？簡単？

スネークチームの挑戦 1 - 2 (前書き)

最近、石像の間が、テレビで少ないような・・・。

## スネークチームの挑戦 1 - 2

ファルコン「3文字の飲み物と果実か……。」

スイツクン「え〜と、え〜と……。」

k「落ち着いて考えれば、出来るはずです……。」

『らるんけくもみ』を何回も並び替える3人。

ファルコン「何か言葉にならないか？」

並び替えながら、そう言うファルコン。

k「……あつー！分りましたよー！『みるく』と『くるみ』じや、無いですか？」

スイツクン「あつ、確かにそれっぽいー！でも、『くるみ』って果実なの……？」

ファルコン「やってみようぜー！」

ファルコンは、『みるく』と並べる。

ポチッ

『ピンポン、ピンポン』

スイツクン「やった〜!!!」

ファルコン「もう、石像が近い……。早く行こうぜ……。」

『第2の扉は穴埋めクロスQです。共通の言葉が入る 2文字の言葉を埋めなさい。』

独

獲道

監

ろくりしつにとん

スイツクン「え????共通なんてある?」

k「分からない……。」

ファルコン「落ち着け、落ち着くんだ、俺……。」

k「独立、得率……。駄目だ、違う……。」

スイツクン「監視……。あつ駄目だ……。他が、出来ない……。」

┌

ファルコン「……。」

『ビービービー……!』

ファルコン「ど、どうするんだよ!」

裏返った声を出すファルコン。

k「静かにしてよ!!集中出来ない……。」

スイツクン「問題分らない……。」

デッドゾーンまで、あと30cm

ファルコン「お、俺が身代わりになるうか?」

スイツクン「駄目!!私、分からないから私が押す!!」

ポチッ

プッシュ~~~~~!!!!

身代わり。

スイツクン「絶対、脱出してよ!!」

石像が、後ろに下がる。

ファルコン「わ、分かった!!お前の死は、無駄にしない……。」



だが、スイツクンが、犠牲になったお陰で3mの余裕が出来た！！

この隙に、パズルを解け！！！！

ファルコン「道、監、独、獲・・・あるのか？」

k「こうなったら、並び替え作戦です！！」

kは、ブロックをグチャグチャにする。

こうすれば、答えになりそうな物が見つかりそうな気がしたからだ。

k「あつ、かんとく・・・監督、獲得・・・」とく『じゃ、ないですか！？』

ファルコン「本当だ！！道徳、監督、独特、獲得・・・それだ！！」

2人は、『とく』と、並べる。

ポチッ

『ピンポン、ピンポン』

ファルコン「やったぜ！！」

k「作戦成功！！」

第2の扉が開き、第3の扉に向かう。

~~~~~

シドリライター「もう少しですね!」

i k k i「行け」

~~~~~

『第3の扉は、有名人並べかえQです。第3の扉を開くには、3つの問題に正解しなくては、なりません。』

ファルコン「2人で3問か・・・。」

『第1問、出されたブロックを全て使い、並び替えて5文字の歴史上の人物の名前を作りなさい。』

しらかはた

k「これは、簡単です!!見た瞬間、分かりましたよ!!」

ファルコン「ま・・・マジですか?」

kは、『はらたかし』と並べる。

k「<sup>はらたかし</sup>原敬!!えいつ!!」

ポチッ

『ピンポン、ピンポン』

ファルコン「凄いな……。」

『第2問、出されたブロックを全て使い、並び替えて10文字の歴史上の人物の名前を作りなさい。』

かももえまちゃんざんつ

ファルコン「うわあ、長いなあ……。」

k「出来るかな……。」

果たして、脱出成功となるか？！？

スネークチームの挑戦 1 - 2 (後書き)

問題が、簡単？

・・・。

でしょうね・・・皆、簡単に分かりますよね・・・。

スネークチームの挑戦 1 - 3 (前書き)

果たして、2人の運命は!?

### スネークチームの挑戦 1 - 3

ファルコン「『ん』が、ついでに歴史上の人物・・・いたか？」

k「・・・。」

石像が、近づいて来ることに焦る2人。

k「えーと・・・えーと・・・。」

ファルコン「わ、分かった！！ち、近松だ！！近松門左衛門だ！！」

k「あ・・・そうですね・・・。」

混乱するkを落ち着かせるファルコン。

kは、落ち着いて『近松門左衛門』と、並び替える。

ポチッ

『ピンポン、ピンポン』

ファルコン「よし、この調子なら、行けるぞ！！」

残り1問で、脱出成功の2人。

脱出出来るか？

『第3問、出されたブロックを全て使い、並び替えて9文字の歴史上の人物の名前と、その人物の3文字の特徴を作りなさい。』

みんなのっしでもとばねよつ

ファルコン「また歴史上の人物か……。」

k「今度は、誰なんでしょうね……。」

『ビー！！ビー！！ビー！！』

石像が、デンジャーゾーンに突入。

k「う……石像が、もうこんな近くに……。」

ファルコン「……今度は、俺が行く……。」

k「な、何で？僕が行きますよ！！」

ファルコン「良いからお前が、脱出するんだ！！」

k「そんな……の、残された方の気持ちも考えてください！！」

ファルコン「……。」

ファルコンは、石像の鼻を押す。

プシュ~~~~~。。

身代わり。

石像が、下がっていくのを見る2人。

ファルコン「お前なら・・・出来るはずだ・・・信じてるぞ!!」

k「・・・はい・・・。」

ファルコン「頼んだぞ・・・ウオオオオオ!!!!」

バグン!!

プシャ~~~~~!!!!

『ファルコンさん、脱出失敗です。』

~~~~~

ワリオ「うわ!!ファルコンが!!」

ミカズキに、貰ったニンニクを食べながらそう言うワリオ。

ウイング「・・・後は、kだけか・・・。」

~~~~~

脱出への想いをkに、託したファルコン!! 脱出失敗!!

ファルコンが、犠牲になり、さらに、3mの余裕が出来た!!

脱出出来るか?!

k「誰だ・・・この人物・・・」

次々と、並び替えていくk。

k「え〜と・・・え〜と・・・ん!? 『みなもと』? これは、まさか・・・。」

kは、素早くブロックを並び替える。

k「あつ、 『よしつね』だ!! 後は、 『ぱっで』・・・ 『でっほ』か!..!」

再びブロック並び替えるk。

k「 『源義経』と、 『出っ歯』!!..これで、どうだ!..!」

ポチッ

『ピンポン、ピンポン』

k「やった！……うわ！……もう石像が近い！」

第3の扉が開き、スイッチに近づく。

k「うりゃー！」

ポチッ

石像が止まった……。

ガタンッ

k「……。」

『ステージクリアです。おめでとうございます、脱出成功です。』

k「スイッチン、ファルコン！……やったよー！」

ガタンッ

k「あつ、鍵が……よっしゃー！」

kが見事、パズルを解き脱出成功！！

スネークチーム1ポイント獲得！！

おめでとーうー！！！！

k「外の光は、眩しいですね……。」

~~~~~

スネーク「任務完了だな!!」

ファルコン「お前なら、やってくれると思ったぜ!!」

k「皆さんのお陰ですよ。」

すると、管理人が、モニターに映る。

管理人「いや、真の友情っていうのを、感じられた脱出劇だったね。」

スイッチン「本当ですか？」

管理人「うん、良かったと思うよ。それにしても、嘘をつくルイージは……ハア……。」

ルイージ「ちょっと待ってよ!!まだ、そのことを引っ張る訳?」

管理人「改めて、小河とさきぼんに聞くけど、ルイージは、いなかっただよね?」

小河・さきぼん「ハイ。」

ルイージ「酷い!!」

ゆうちゃん「怒るなってルイージ……。」

リリカルシヨール「落ち着いてくださいよ。」

ルイージ「うう……。。」

管理人「おやおや……。それでは、今回は、マリオチームが先行だったので、次回のステージは、先行が、スネークチームとなります！！次回も、頑張って行きましょーう！！」

全員「イエーイ」

現在、

マリオチーム2ポイント

スネークチーム1ポイント

一体、どうなる！？

スネークチームの挑戦 1 - 3 (後書き)

次回、遺跡の間。

スネークチームの挑戦2 - 1 (前書き)

少々、更新、遅れました・・・。

スネークチームの挑戦2 - 1

2ND STAGE

遺跡の間

まずは、スネークチームの挑戦。

挑戦するのは、スネーク、ウイング、フォルトの3人。

3人は、ミカズキの案内によって、それぞれ小部屋に入れられた。

『それでは、目隠しを外して下さい。』

スネーク「・・・何だ？」

ウイング「ひよっとして、1番、怖い奴なんじゃない？」

フォルト「・・・。」

仰向けに寝ている3人、すると、モニターに管理人が出てきた。

管理人「スネークチームの皆さん、ようこそ、遺跡の間へ〜!!」

ウイング「やっぱり、遺跡の間だった!!!これ、出たかったんです

よ〜。」

管理人「あっ、そうだったの？怖いとは、思わないのかい？」

ウイング「いや、全然です。」

管理人「遊戯王の小説を主に書いているウイング君は、気合い十分みたいだね。そして、フォルト!!」

フォルト「は、ハイ？」

管理人「『マリオ』というユーザー名で、スマブラハザードなどを書いているフォルト、緊張して無い？」

フォルト「・・・宣伝、有り難うございます。大丈夫です。」

管理人「本当に？じゃあ、確かめるよ。ポチッと。」

ゴゴゴ・・・。

スネーク「ゆ、床が、割れ始めているぞ!？」

フォルト「え？まだ、開くの!？」

ウイング「お、思った以上に、開くねえ・・・。」

ガチャン!!

スネーク「と、止まった・・・。」

管理人「どうでしたか？」

スネーク「おい、急に開くなよ!!！」

管理人「ゴメンよ、びっくりさせたかったんだ。」

フォルト「うわ、下は、真っ暗……。視力2・0の俺でも見えな
い……。」

管理人「視力、凄く良いな。それでは、ルール説明です!!！」

この部屋から脱出するには、超常識問題を順番に3人連続正解を3
回クリアしなければなりません。

3人連続正解することに、1ポイントを獲得出来ます。よって、3
ポイントで脱出成功です。

また、1問の制限時間は5秒です。解答は、始めの1つしか受け付
けません。

不正解だった場合、床が開いて行き、耐えられなくなり、落ちてし
まった場合、脱出失敗となります。

管理人「背中から落ちて行くプレッシャーに負けないように頑張っ
てね!!それじゃ、バイバイ!!！」

ブツッ

『ビーコン！！ビーコン！！ビーコン！！』

赤いランプが部屋中に響き渡る。

脱出開始。

スネーク「ショータイムだ！！」

ウイング「よっしゃ〜！！行くぞ〜！！」

フォルト「落ちたくないなあ・・・。」

果たして、脱出成功となるか！？

スネークチームの挑戦2 - 1 (後書き)

次回、遂に、遺跡の間が本格的に始動!!

スネークチームの挑戦2 - 2 (前書き)

プレッシャーに、勝って脱出出来るか!?

スネークチームの挑戦2-2

~~~~~

サポートルーム

ikki「うわぁ、いっぱい差し入れが来ましたね……。」

バルスキーさんから、送られたカレー。

サナレイドさんから送られた人数分のカツ丼。

矢部野さんから送られたマキシマムトマト、ファイアフラワー、アイスフラワー、花粉を通さないマスク×3……。

D・JUN「マスクは、花粉だけでは、無く、風邪の予防にもなりそうですね。」

ファルコン「おっ、マキシマムトマト美味い!!」

マリオ「トマト、カレーに入れよ」

小河「おっ、カツ丼が!!やったぁ」

さきぽん「おいしそう!!」

ルイージ「アイスフラワーだ……。 (小河さん達……機嫌治ったかな……? 治ったよね……?)」

「

~~~~~

『それでは、問題です。』

1・スネーク、2・ウイング、3・フォルト

『スネークさんからの第1問』

スネーク「俺からか・・・。」

『三角形の内角の和は、何度でしょう？』

5

スネーク「これは・・・180度だ!!」

『ピンポン』

スネーク「ふう・・・この数秒間が、何分にも感じるな・・・。」

『ウイングさんへの第2問』

ウイング「・・・。」

『世界で最も面積が大きい国は？』

5

4

ウイング「ロシア・・・かな？」

『ピンポン』

ウイング「よし!!」

『フォルトさんへのラストクエスチョン』

フォルト「・・・簡単な問題で・・・。」

『ドラえものの誕生日は、何月何日でしょ?』

5

4

フォルト「え・・・いつだっけ?いつだっけ?」

3

スネーク「フォルト、落ち着け!!!」

2

1

フォルト「ゴメン、分からない・・・。」

『ブブー!!』

フォルト「すみません……。」

『正解は、9月3日です。』

フォルト「あ……そうだったような気がする……。」

『不正解だったため、床が第1段階まで開きます。』

フォルト「うわあ……。嫌……。」

ゴゴゴ……。

フォルト「えっ？えっ？こんなに開くの？」

ゴゴゴ……。

フォルト「ええ！？ちよつ……。」

ガシャン！！

フォルト「……と、止まった……。」

スネーク「……結構、開くもんだな……。」

ウイング「これ、3問連続正解は、厳しいなあ……。」

『それでは、問題です。』

1・スネーク、2・ウイング、3・フォルト

『スネークさんからの第1問』

スネーク「また、俺からか……。」

『「お茶の子さいさい」「の」「お茶の子」とは何のじやぶじやぶじやぶ……』

5

スネーク「……これは……えーと……。」

4

3

2

スネーク「あつー!!お茶菓子だ!!」

『ピンポン』

スネーク「よし!!危ねえ……。」

『ウイングさんへの第2問』

ウイング「来い……。」

『2000年は、何世紀でしょう?』

5

4

3

2

ウイング「えっ……21世紀……？」

1

『ブブー!!』

ウイング「あつ、しまった!!20世紀だ!!」

『正解は、20世紀です。』

ウイング「うわ〜!!やつちゃった……。」

『不正解だったため、床が第1段階まで開きます。』

ウイング「……。」

ゴゴゴ……。

ウイング「……うわ……下は高いなあ……。」

ゴゴゴ……ガシャン!!

ウイング「止まった……。まだ大丈夫だけど……。怖いなあ……。」

『問題』

1・フォルト、2・スネーク、3・ウイング

『フォルトさんからの第1問。』

フォルト「……僕か……。」

『「免許」を英語で言つと?』

5

4

フォルト「えーと……ライセンス……?」

『ピンポン』

フォルト「よし!~!」

スネーク「良いぞ!!フォルト!!」

『スネークさんへの第2問。』

スネーク「来い!!」

『だ液に含まれる消化酵素は何でしょ?』

5

4

3

2

スネーク「……？デンプンじゃないよな……。」

1

『ブブー！！』

スネーク「……スマン。」

『正解は、アミラーゼでした。』

スネーク「家庭科の問題か……。」

『不正解だったため、床が第1段階まで開きます。』

スネーク「……。」

ゴゴゴ……。

スネーク「やはり、開くなあ……。」

ガシャン！！

スネーク「・・・まだ、大丈夫だな・・・。」

フォルト「これで、皆、第1段階まで開きましたね・・・。」

ウイング「何か、心配になって来ました・・・。」

スネーク「諦めるのは、まだ早い！！どんどん問題を解くぞ！！！」

正解は出しても、まだ1ポイントも獲得していないスネークチーム
！！

どうなってしまっのか？！

スネークチームの挑戦2 - 2 (後書き)

次回、スネーク達が追い上げるのか、それともこのまま脱出失敗してしまうのか・・・。

スネークチームの挑戦2 - 3 (前書き)

難問連発の中、脱出出来るのか!?

スネークチームの挑戦2 - 3

『問題。』

1・ウイング、2・フォルト、3・スネーク

『ウイングさんへの第1問。』

ウイング「……。」

『「この世をば わが世とぞ思う 望月の 欠けたることの なし
と思えば」の歌の作者は誰でしょう?』

5

ウイング「え」と……藤原……。」

4

3

2

ウイング「藤原道長!!」

『ピンポン』

ウイング「やったあ〜!」

『フォルトさんへの第2問』

フォルト「簡単な問題が良いな……。」

『日本の初代総理大臣は誰?』

5

フォルト「え〜と……これは、分かるぞ……。」

4

フォルト「伊藤博文!!」

『ピンポン』

フォルト「やったあ!!」

『スネークさんへのラストクエスチョン。』

スネーク「俺が正解で、1ポイントだな……。」

『太陽の表面温度は、何 でしょう?』

5

4

3

スネーク「・・・6000 ！！」

『ピンポン』

スネーク「やったぞー！！」

『1ポイント獲得です。』

~~~~~

スウィックン「おっ、1ポイント！！」

k「でも、まだ、残り2ポイントもあるのかぁ・・・。」

~~~~~

何とか、1ポイントを獲得したスネークチーム！！

この調子で行けるかー！？

『問題』

1・ウイング、2・フォルト、3・スネーク

『ウイングさんからの第1問。』

ウイング「・・・もう自分の番か・・・。」

『日本の国鳥は何でしょう?』

5

ウイング「へ!?そんなの分かんないよ!?!」

4

3

ウイング「鳩?」

2

1

『ブブー!!』

ウイング「違った……。」

『正解は、キジでした。』

ウイング「キジ!?そんなの日本じゃ見ないよ!?!」

『不正解だったため、床が第2段階まで開きます。』

ウイング「ゲツ、大丈夫かな……。」

ゴゴゴゴゴゴ……。

ウイング「わわわわ!!止めてって!!」

ゴゴゴゴ・・・ガシャン!!

ウイング「うわぁ・・・もう身体が少し出てるよ・・・」

フォルト「大丈夫ですか!？」

ウイング「な、何とか・・・」

スネーク「1段階違うだけで、そんなに開くのか・・・」

『問題』

1・フォルト、2・スネーク、3・ウイング

『フォルトさんからの第1問。』

フォルト「これ以上、不正解は、避けたい・・・」

『日本の最南端の島の名前は、何でしょう?』

フォルト「えつと・・・」

5

4

3

フォルト「沖ノ鳥島!」

『ピンポン』

フォルト「よし!調子良いぞ!」

『スネークさんへの第2問。』

スネーク「頑張らなくては……。」

『絵の具で、赤と青と黄を混ぜると何色になるでしょう?』

5

4

スネーク「色が……。」

3

2

スネーク「白?」

『ブブー!』

スネーク「畜生……。」

『正解は、黒でした。』

スネーク「黒！？」

『不正解だったため、床が第2段階まで開きます。』

ゴゴゴゴ・・・。

スネーク「・・・。」

ゴゴゴゴ・・・ガシャン！！

フォルト「スネークさん、大丈夫！？」

スネーク「・・・余裕が無くなって来たな・・・。」

『問題』

1・ウイング、2・フォルト、3・スネーク

『ウイングさんからの第1問。』

ウイング「落ちたくない！！」

『グアム島は、どこの国の領土でしょう？』

5

ウイング「これは、多分・・・。」

4

ウイング「アメリカ!!」

『ピンポン』

ウイング「よし!!」

~~~~~

ikkii「おお!!」

ファルコン「あの状態からよく答えられるよな……。」

~~~~~

『フォルトさんへの第2問』

フォルト「もう精神が持たないよ……。」

『「情報」を英語で何というでしょう?』

5

フォルト「え?え?え?」

4

3

フォルト「何だっけ?」

2

1

『ブブー!!』

フォルト「う……何だったっけ？」

『正解は、インフォメーションでした。』

フォルト「それだあゝ!!」

『不正解だったため、床が第2段階まで開きます。』

ゴゴゴゴ……。

フォルト「……。」

ゴゴゴ……ガシャン!!

フォルト「ヒッ……。」

スネーク「まだ、1ポイントしか取れてないんだな……。」

ウイング「もう皆、ギリギリですね……。」

大ピンチのスネークチーム!!

果たして、どくなってしまうのかー!?!?

スネークチームの挑戦 2 - 3 (後書き)

問題の数は、多分、遺跡の間が1番多いです。

スネークチームの挑戦2 - 4 (前書き)

テスト、ようやく終わりました!!

スネークチームの挑戦2 - 4

『問題』

1・スネーク、2・ウイング、3・フォルト

『スネークさんからの第1問』

スネーク「やってやる!!!」

『熱の伝わり方は、伝導、放射、あと1つは?』

5

4

スネーク「・・・対流だ!!!」

『ピンポン』

スネーク「・・・危ねえ・・・。」

『ウイングさんへの第2問。』

ウイング「・・・。」

『諺^{ことわざ}「二階^{にがい}から何?」』

5

ウイング「目薬!！」

『ピンポン』

スネーク「よし、良いぞ!！」

ウイング「頑張りますよ!！」

『フォルトさんへのラストクエスチョン。』

フォルト「・・・早く楽になりたい・・・。」

『マヨネーズの主な原料、酢、卵黄、あと1つは?』

5

4

フォルト「何、何?」

3

2

1

『ブブー!!!』

フォルト「あゝ、ゴメン!!」

『正解は、油でした。』

フォルト「そうであゝ・・・それであゝ・・・。」

『不正解だったため、床が第3段階まで開きます。』

フォルト「あゝ・・・お別れかな・・・。」

ウイング「フォルト、耐えてくれ!!」

ゴゴゴゴゴゴ・・・。

フォルト「あゝ・・・もう駄目・・・2人共、ゴメン!!あゝ!!
!!」

フォルト、落下。

~~~~~

ファルコン「あつ、フォルトが!!」

スイツクン「落ちちゃった・・・。」

~~~~~

スネーク「・・・フォルトが・・・。」

ウイング「……。」

『フォルトさん、脱出失敗です。』

2人「……。」

頑張ったもののあと1歩及ばなかったフォルト、脱出失敗!!

『ここからは、2人で3問連続正解しなければなりません。』

1・スネーク、2・ウイング、3・スネーク

『スネークさんからの第1問。』

スネーク「フォルトの分まで、頑張らなくては!!」

『鉛筆の「HB」とは、何の略でしょう?』

5

4

3

スネーク「ハードブラック!!」

『ピンポン』

ウイング「凄い・・・分らなかった・・・。」

『ウイングさんへの第2問。』

ウイング「・・・はい。」

『音の伝わる速さは秒速約何m?』

5

4

3

ウイング「340m・・・?」

『ピンポン』

ウイング「おっ、勘が当たった!!」

『スネークさんへのラストクエスチョン。』

スネーク「ポイント獲るぞ!!」

『99歳のことを何という?』

5

スネーク「白寿!!」

『ピンポン』

スネーク「やったぞ!!」

『2ポイント目獲得です。』

ウイング「やった!!あと、1ポイント!!」

あと1ポイントとなったスネークチーム、このまま2人で脱出成功となるか?

『ウイングさんからの第1問。』

1・ウイング、2・スネーク、3・ウイング

ウイング「・・・落ち着けば、大丈夫なはず!!」

『地球温暖化防止のために採択された議定書は何でしょう?』

5

4

ウイング「へっ?何?」

3

2

ウイング「……。」

1

『ブブー!!』

ウイング「ゴメン……。」

スネーク「確かに、これは、難しいな。」

ウイング「答え、何？」

『正解は、京都議定書でした。』

ウイング「あ……そういうのあったなあ……。」

『不正解だったため、床が第3段階まで開きます。』

スネーク「1人にしないでくれよ……。」

ウイング「耐えて見せます……。」

ゴゴゴゴゴゴ……。

ウイング「ああ……もう駄目……身体が半分以上出てる……スネークさんゴメン!!」

ウイング、落下。

スネーク「ウイングが落ちた……。」

~~~~~

ikki「うわっ!!ウイングさんが……。」

シドリレイター「全滅は、嫌だよ……。」

翡翠煉「でも、あんな高い所、怖いだろっなあ……。」

~~~~~

スネーク「……ついに、1人が……。」

『ウイングさん、脱出失敗です。』

スネークに想いを託し、落ちていったウイング、脱出失敗!!

『ここからは、1人で3問連続正解しなければなりません。』

スネーク「辛いな……。だが、2人の分までやらなければ……。」

┌

あと、1ポイントで脱出成功。

果たして、脱出成功なるか！？

スネークチームの挑戦2 - 4 (後書き)

次回、スネークチームの運命が決まる!!

果たして・・・。

スネークチームの挑戦2 - 5 (前書き)

スネークの運命は!?

スネークチームの挑戦2 - 5

『スネークさんへの3問連続クイズ。』

スネーク「分かってるぞ……。」

『ファーストクエスチョン。』

スネーク「……。」

『魚編に、弱いと書いて何と読むでしょう?』

5

4

スネーク「鰯^{いわし}だ!」

『ピンポン』

スネーク「よし、あと2問だ!」

『セカンドクエスチョン。』

スネーク「……。」

『源頼朝が、幕府を開いた場所は何処でしょう?』

5

4

スネーク「鎌倉だから・・・。」

3

2

スネーク「神奈川だ!!」

『ピンポン』

~~~~~

ワリオ「おっ、あと1問だ!!」

k「スネークさんならやってくれるはずですよ!!」

ikkii「頼む!!」

~~~~~

土壇場^{どたんば}で2問連続正解のスネーク。

あと1問で、スネークは脱出成功となる!!

『ラストクエスチョン』

スネーク「答えてやる!!」

『文化を英語で言っと?』

5

4

3

スネーク「貰った!!カルチャーだ!!」

『ピンポン』

スネーク「やったぞ!!」

『ステージクリアです。おめでとうございます、脱出成功です』

スネーク「皆、チームリーダーとしての仕事は、果たしたぞ!!」

段々、床が戻って行きスネークは起き上がって部屋から出る。

スネークチーム見事、1ポイントを獲得!!

スネーク「問題結構難しかったな・・・。」

サポートルーム

ファルコン「スネーク、お疲れ!!」

フォルト「流石さすが、スネークさんです!!」

ウイング「桁が違いますね!!」

スネーク「ああ、ちよつと気持ちは、焦ったがな。……っていうか、この部屋良い匂いするなあ……。」

スイツクン「皆で、カツ丼とカレーを食べてたから……。」

スネーク「そ、そうなのか……?」

ミカズキ「スネークさん達の分もあるから安心して。」

スネーク「じゃ、腹も減ったし早速、食うとするぞ。」

モニターに、管理人の顔が映る。

管理人「いや、お見事だったよ!!あの高い所からよく答えられたね!!」

スネーク「……まあ、ちよつとパニックになったがな。」

マリオ「俺、出題された問題がほとんど分からなかったよ。」

管理人「ええ!!?あんなに問題があったのに!」

D・JUN「だ、大丈夫なんですか？マリオさん。」

マリオ「多分な。」

ルイージ「曖昧あいまいだなあ……。」

管理人「さて、次は、マリオチームの挑戦!!」

マリオ「おつ、俺達だな。皆、頑張ろうぜ!!」

マリオチーム2ポイント

スネークチーム2ポイント

ここで、スネークチームが1ポイントを獲得!!

まだまだ分からないこの勝負。

どちらが勝つのか!?

スネークチームの挑戦2 - 5 (後書き)

次回、マリオチームが遺跡の間に挑戦!!

挑むのは・・・

マリオチームの挑戦2 - 1 (前書き)

久々にマリオチームが挑戦!!

マリオチームの挑戦2 - 1

遺跡の間

続いては、マリオチームの挑戦。

挑戦するのは、ガノンドロフ、D・JUN、ゆうやんの3人。

スネークチームよりも、多く脱出成功となるか!?

『目隠しを外してください。』

ガノンドロフ「……。」

D・JUN「意外に、狭いんですね……。」

ゆうやん「狭いの嫌だなあ……。」

モニターに管理人が映る。

管理人「マリオチームの皆さん、ようこそ、遺跡の間へ!!--」

ガノンドロフ「呑気な奴だ……。畜生。」

ゆうやん「何かこの体勢は嫌……。」

D・JUN「……。」

管理人「じゃあ、早速、ポチツとな!!」

ガノンドロフ・ゆうちゃん「おいしい!!!!」

ゴゴゴ。。。

ゆうちゃん「お、おい!!穴開きすぎだつて!!管理人!!おい!!」

ガノンドロフ「背中から落ちるのか。。。」

ガシャン!!

管理人「どうだった?」

D・JUN「何か・・・見ているのと実際にやるじゃ全然違いますね。。。」

ゆうちゃん「俺も。。。これ、甘く見てた。。。」

管理人「D・JUNは、らきすた、魔法先生ネギま!などのキャラを使った逃走中。ゆうちゃんは、俺得シリーズの逃走中を書いているようだね。」

ゆうちゃん「はい。出来れば、これ開く前に言って欲しかったけど。。。」

管理人「あつ、そう?いや、好みって難しいね。」

D・JUN「。。。」

ゆうちゃん「……。」

ガノンドロフ「おい、どうしてくれるんだ!!!この空気!!!」

管理人「宣伝しようと思っただけなのになぁ……。」

ガノンドロフ「おい、ゆうちゃん、D・JUN!!!絶対、脱出してやるうぜ。」

ゆうちゃん「ああ、そうだよな。」

D・JUN「スネークチームには、負けられませんからねえ。」

~~~~~

スネーク「向こうの戦いも気になる所だな。」

カツ丼を食べているスネーク、ウイング、フォルト。

リリカルシヨールバイ「でも、3人とも見た目は、怖がって無いですね。」

翡翠煉「でも、内心は、怖がってるんじゃない……。」

小河「類似、遺跡の間の底には、オバケが大量にいるんだぞ……。」

ルイージ「ええ!!!?????そうなの?」

さきぼん「そうみたいだよ。」

ルイージ「ギャ〜〜〜〜〜〜〜〜！！！！！！！！！！！！」

スネーク（嘘だって気付けよ……。）

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

管理人「それでは、3人とも頑張って脱出してください！！それでは、バイバイ！！」

管理人が、モニターから消える。

そして、

『ビーコン！！ビーコン！！ビーコン！！』

赤いランプが部屋中に響き渡った。

脱出開始。

D・JUN「いよいよですね……。」

ゆうちゃん「頑張る……。」「

ガノンドロフ「俺なら、多少、床が開いても大丈夫だな……。」

マリオチーム、何人が脱出出来るのか！？



マリオチームの挑戦2 - 1 (後書き)

次回、マリオチームの脱出劇が始まる!!

マリオチームの挑戦2 - 2 (前書き)

始まります・・・。

## マリオチームの挑戦2 - 2

『それでは、問題です。』

1・ガンドロフ、2・D・JUN、3・ゆうちゃん

『ガンドロフさんからのファーストクエスチョン』

ガンドロフ「俺からか・・・。」

『ダイヤモンドは何が元で出来ているでしょう?』

5

ガンドロフ「ハア!？」

4

3

2

ガンドロフ「銀か？」

1

『ブブー!!--!』

ガノンドロフ「・・・知らん。」

『正解は、炭素でした。』

ガノンドロフ「炭素・・・？」

『不正解だったため、床が第1段階まで開きます。』

ゆうちゃん「まだ、大丈夫ですよね？」

ガノンドロフ「多分な。」

ゴゴゴゴゴゴゴゴゴゴ。。。。。

ガノンドロフ「。。。。。」

ガシャン！！

ガノンドロフ「まだまだ平気だ。」

D・JUN「あっ、体型が良いですもんね。」

『問題。』

1・D・JUN、2・ゆうちゃん、3・ガノンドロフ

『D・JUNさんからのファーストクエスチョン』

D・JUN「初問題ですね。」

『いちばん面積が小さい都道府県は?』

5

D・JUN「えっ?えーと……。」

4

3

D・JUN「香川?」

『ピンポン』

D・JUN「良かった……。」

~~~~~

さきぼん「えっ、そうなんだ?」

小河「俺、東京か大阪かと思ってた。」

さきぼん「私も。」

~~~~~

『ゆづちゃんさんへのセカンドクエスチョン。』

ゆづちゃん「得意科目来い!~!」

『太陽系の惑星で、地球と木星の間にあるのは？』

5

ゆうちゃん「理科がよ……。」

4

3

ゆうちゃん「……火星！！」

『ピンポン』

ゆうちゃん「よし！！危ねえ……。」

『ガノンドロフさんへのラストクエスチョン。』

ガノンドロフ「リベンジしてやる！！」

『大山古墳の形を何というでしょう？』

5

4

ガノンドロフ「前方後円墳！！」

『ピンポン』

ガノンドロフ「答えて良かった……。」

ゆうやん「ガノン凄いい、よく答えられましたね……。」

『1ポイント獲得です。』

~~~~~

マリオ「おつ、1ポイント獲得!!」

翡翠煉「所で、問題、分かりましたか？」

マリオ「さっきの問題、全部分からない。」

ルイージ「兄さん、本当に大丈夫？」

~~~~~

『問題』

1・D・JUN、2・ゆうやん、3・ガノンドロフ

『D・JUNさんからのファーストクエスチョン』

D・JUN「回ってくるの早い……。」

『地球が太陽と月の間に位置し、月が地球の影に入っ  
て欠けて見える現象を何と  
いうでしょう?』

D・JUN「あゝ、どっちだろっ？どっちかなんだよ……。」

4

3

2

D・JUN「日食。」

1

『ブブー！……』

D・JUN「あゝ……じゃあ、月食だ。」

『正解は、月食でした。』

D・JUN「やっぱりなあ……。」

『不正解だったため、床が第1段階まで開きます。』

ゴゴゴゴ……。

D・JUN「うわ……。」

ゴゴゴゴ……ガシャンー！！

D・JUN「……。。」

ゆうやん「大丈夫ですか？」

D・JUN「ええ……一応……。」

ガノンドルフ「中々、凄みがあるゲームだ……。」

脱出まであと2ポイント。

果たして、どうなってしまうのか……？

## マリオチームの挑戦2 - 2 (後書き)

問題が難しいか、難しくないか・・・悩みの種。

マリオチームの挑戦 2 - 3 (前書き)

遺跡の間って、こんなに大変なの・・・？

## マリオチームの挑戦2 - 3

『問題』

1・ゆうちゃん、2・ガンドロフ、3・D・JUN

『ゆうちゃんさんからのファーストクエスチョン』

ゆうちゃん「。。。。」

『239年に魏に使いを送った邪馬台国の女王の名前は？』

5

4

3

ゆうちゃん「邪馬台国の女王だから・・・卑弥呼？」

『ピンポン』

ゆうちゃん「よし、順調、順調。」

『ガンドロフさんへのセカンドクエスチョン。』

ガンドロフ「。。。。」

『植物の光合成によってできるのは、酸素と何でしょうっ。』

5

4

3

ガノンドロフ「酸素以外に何かあるのか？」

2

1

『ブブー！！』

ガノンドロフ「酸素以外に無いだろ・・・？」

『正解は、デンプンでした。』

ガノンドロフ「デンプン・・・。そんなの出てこないだろ・・・。」

『不正解だったため、床が第2段階まで開きます。』

ガノンドロフ「またか・・・。」

ゴゴゴゴゴゴ。。。

ガノンドロフ「・・・。」

ゴゴゴゴ・・・ガシャン！！

ガノンドロフ「・・・。」

ゆうちゃん「大丈夫ですか!？」

ガノンドロフ「まだ大丈夫だが、身体が少し出てるな・・・。」

~~~~~

リリカルショーバイ「ここで、間違えるのは痛いですね・・・。」

小河「このゲーム、2問連続正解の時に間違えたら自分が嫌になる
だろうな。うわぁ、怖いゲーム。」

~~~~~

1・D・JUN、2・ゆうちゃん、3・ガノンドロフ

『D・JUNさんからのファーストクエスチョン』

D・JUN「・・・はい。」

『894年に遣唐使の停止を建言した人物は?』

5

4

D・JUN「えーと……。」

3

D・JUN「菅原道真!！」

『ピンポン』

ゆうちゃん「おっ、正解だ!！」

ガノンドロフ「この問題なら俺も分かってたんだがな……。」

『ゆうちゃんさんへのセカンドクエスチョン。』

ゆうちゃん「またまた自分ですね……。」

『太陽の本体は、固体・液体・気体のうちのどの状態でしょう?』

5

ゆうちゃん「3択問題か……。どれだろう……。。」

4

3

2

ゆうちゃん「固体!！」

『ブブー!』!』

ゆうちゃん「あっ……じゃあ、気体?」

『正解は、気体でした。』

ゆうちゃん「あゝそうか……。」

『不正解だったため、床が第1段階まで開きます。』

ゆうちゃん「……ついに、自分の床も開くのか……。」

ゴゴゴゴゴゴゴゴ……。

ゆうちゃん「え……ちよ……。」

ゴゴゴゴ……ガシャン!!

ゆうちゃん「えっ……こんなに開くの? 2人共、よく耐えていますね。」

……。

D・JUN「見た目ではあまり変わらないように見えますけど意外に、開くんですよ。」

『問題』

1・ガンドロフ、2・D・JUN、3・ゆづちゃん

『ガンドロフさんからのファーストクエスチョン』

ガンドロフ「……。」

『いひなげ諺なま ひょうたんから何が出るでしょっつ。

5

ガンドロフ「『駒』だ!!」

『ピンポン』

ゆづちゃん「おっ、早い!!」

『D・JUNさんのセカンドクエスチョン』

D・JUN「もう自分ですか……?」

『?』 『しずかさや岩にしみ入るせみの声』の俳句の作者は誰でしょっつ

5

D・JUN「えーと……あれです、あの……。」

4

3

D・JUN「松尾芭蕉!!」

『ピンポン』

D・JUN「危な……。」

『ゆうやんさんへのラストクエスチョン。』

ゆうやん「これで、ポイントが取れば……。」

『せきつい動物には5種類ありますが、ほ乳類、鳥類、魚類、は虫類と、あと1つは何でしょう?』

5

ゆうやん「これは、分かる!!両生類!!」

『ピンポン』

ゆうやん「よっしゃあ!!」

『1ポイント獲得です。』

~~~~~

マリオ「おっ、正解した!!」

翡翠煉「これで、あと1ポイントですね!!」

~~~~~

見事な快進撃を見せる3人!!

あと1ポイントで脱出成功!!

このまま全員脱出となるか!?

マリオチームの挑戦2 - 3 (後書き)

春休みなのに、更新は、いつも通り・・・。

皆さん、すみません・・・。

## マリオチームの挑戦2 - 4 (前書き)

スネークチームとマリオチーム、皆さんは、どっちが好き？



『D・JUNさんへのセカンドクエスチョン。』

D・JUN「自分ですね・・・。」

『東京スカイツリーの高さは?』

5

4

D・JUN「634m!」

『ピンポン』

D・JUN「よし!」

『ゆうちゃんへのラストクエスチョン。』

ゆうちゃん「二二で、正解したい・・・。」

『ごま油に唐辛子を入れ加熱して作る調味料は?』

5

4

ゆうちゃん「へっ!?!何だ、それ!」

3

『ブブー!』

ゆうちゃん「あゝ、ゴメン……。」

ガノンドロフ「これは、男子には難しいな……。」

『正解は、ラー油でした。』

ゆうちゃん「ラー油……あゝ聞いたことある、ある……。」

『不正解だったため、床が第2段階まで開きます。』

ゆうちゃん「止めてくれ……。」

ゴゴゴゴゴゴゴ……。

ゆうちゃん「だから、管理人、開きすぎだつて……。」

ゴゴゴゴ……ガシャン!!

ゆうちゃん「ヤバイつて、落ちるつてこれ……。」

D・JUN「ゆうちゃんさん、頑張って耐えてください……。」

1・ガノンドロフ、2・D・JUN、3・ゆうちゃん

『ガノンドロフさんからのファーストクエスチョン』

ガノンドロフ「……。」

『日本の初代内閣総理大臣は誰でしょう?』

5

4

ガノンドロフ「あ……誰だったけ。出てきそうなんだが……。」

「

3

2

1

『ブブー!』!』

ガノンドロフ「チツ……。」

『正解は、伊藤博文でした。』

ガノンドロフ「ああ、それだよ、それ。今、出てきた。」

『不正解だったため、床が第3段階まで開きます。』

ガノンドロフ「落ちるのか・・・？」

ゴゴゴゴゴ

ガノンドロフ「ヤバイな・・・。」

ゴゴゴゴ・・・ガシャン！！

ガノンドロフ「うおっ・・・残ったぞ・・・。」

ゆうちゃん「流石さすがです・・・。」

1・D・JUN、2・ゆうちゃん、3・ガノンドロフ

『D・JUNさんからのファーストクエスチョン』

D・JUN「・・・早く、脱出したい・・・。」

『寝たふりのこと、動物の名前を使い、何寝入りでしょう？』

5

4

3

D・JUN「ためき寝入りですか・・・？」

『ピンポン』

『ゆうちゃんさんへのセカンドクエスチョン。』

『中国地方の最高峰の山は?』

5

4

3

ゆうちゃん「あ、あれですよ、あれ、何だっけ、何だっけ?」

2

1

『ブブー!!--!』

ゆうちゃん「5秒とか短いですって……。」

『正解は、大山だいせんでした。』

ゆうちゃん「難しいよ、これ……。」

『不正解だったため、床が第3段階まで開きます。』

ゆうちゃん「あゝマジか……。」「

ゴゴゴゴゴゴ……。

ゆうちゃん「皆……ゴメン!」

D・JUN「あっ!」

ガノンドロフ「消えた……。」

『ゆうちゃんさん、脱出失敗です。』

~~~~~

小河「うわっ!?!落ちた……。」

リリカルシヨール「うん……残念ですね……。」

~~~~~

懸命に問題に答えたが惜しくも落下してしまった、ゆうちゃん、脱出失敗!!

ここからは、2人で3問連続正解しなければならない。

1・ガノンドロフ、2・D・JUN、3・ガノンドロフ

『ガノンドロフさんからのファーストクエスチョン。』

ガノンドロフ「あいつの分まで……。」

『日本で女性の結婚が可能になるのは何歳から?』

5

4

3

ガノンドロフ「は?今、何歳からなんだ?17歳か?」

2

1

『ブブー!!--!』

ガノンドロフ「違うみたいだな・・・。」

『正解は16歳からでした。』

ガノンドロフ「俺もここまでか・・・。」

『不正解だったため、床が第4段階まで開きます。』

ガノンドロフ「何段階まで床が開くんだ・・・。」

D・JUN「ガノンさん、1人にしないでください・・・。」

ゴゴゴゴゴ。。。。。

ガノンドロフ「……チツ、すまん、D・JUN……。」

ガノンドロフ、落下……。

『ガノンドロフさん、脱出失敗です。』

D・JUN「……。」

~~~~~

さきばん「こ、これヤバイですよ!!--」

翡翠煉「あとは、D・JUNさんだけか……。頑張ってくれ……。」

~~~~~

冷静に問題を答えていったものの無念の落下、ガノンドロフ、脱出  
失敗!!--

D・JUN「自分だけ……か……。」

これで、残るは、D・JUNのみとなった。

3問連続正解をし、見事、脱出成功となるか!?

マリオチームの挑戦2 - 4 (後書き)

いよいよ、遺跡の間が次回で終了!!

果たして、結果は・・・?

マリオチームの挑戦2 - 5 (前書き)

遺跡の間、ついに完結!!

## マリオチームの挑戦2 - 5

『D・JUNさんへの3問連続クイズ。』

D・JUN「この緊張感、半端ない……。」

『ファーストクエスチョン。』

D・JUN「……。」

『鎌倉時代に浄土宗をひらいた僧は誰でしょう?』

5

4

3

D・JUN「えっ!? 誰だっけ……。う……。う……。」

2

1

『ブブー!』

D・JUN「うわ……。うわ……。」

『正解は、法然でした。』

D・JUN「分かんないよ……。」

~~~~~

ルイーダ「うわっ!? ヤバイ!？」

翡翠煉「耐えてください!！」

~~~~~

『不正解だったため、床が第2段階まで開きます。』

ゴゴゴゴゴ……。

D・JUN「ひえ……。」

ゴゴゴゴゴ……ガシャン!!

D・JUN「……耐えた。」

『D・JUNさんへの3問連続クイズ。』

D・JUN「分かってます……。」

『ファーストクエスチョン。』

D・JUN「……。」

『植物の胚珠が成長すると何になる?』

5

4

3

D・JUN「しゅ、種子!」

『ピンポン』

D・JUN「怖〜。。。」

『セカンドクエスチョン。』

D・JUN「易しい問題で。。。」

『「それでも地球は動いている」という言葉を残した人は?』

5

D・JUN「ガリレオ・ガリレイ!」

『ピンポン』

~~~~~

マリオ「いける、いけるぞ!」

リリカルショーバイ「頑張ってください!!」

~~~~~

次の問題に正解すれば、脱出成功。

脱出成功となるか!?

『ラストクエスチョン』

D・JUN「頼む!!」

『1種類の元素だけでできている物質を何という?』

5

4

3

D・JUN「単体・・・?」

『ピンポン』

D・JUN「やった・・・。」

『ステージクリアです。おめでとうございます、脱出成功です』

~~~~~

マリオチーム「やったあ〜!!」

ミカズキ「流石さすがですね〜。．．．。」

~~~~~

D・JUN「あ〜．．．危なかった．．．。」

段々、床が戻って行きD・JUNは起き上がって部屋から出る。

マリオチーム見事、1ポイントを獲得!!

D・JUN「あんなに緊張したのは、初めてかも．．．。」

サポートルーム

管理人「D・JUN凄いよ、あんな時によく冷静になれた!!」

D・JUN「いや、十分緊張してましたけどねえ．．．。」

管理人「あっ．．．そうなの?」

ガンドロフ・ゆうちゃん「分かれよ．．．。」

マリオ「俺は、ほとんど問題が分からなかったけどな。」

ルイーダ「自慢することじゃないって……。」

管理人「ということで、次のサードステージに行ってみましょう  
!」

全員「オッ!!」

管理人「次のステージは、マリオチームが先行です!!それでは  
!」

マリオチーム3ポイント

スネークチーム2ポイント

ここで、マリオチームが1ポイントをリード!!

この勝負、まだまだ分からない。

どちらが勝つのか!?

マリオチームの挑戦2 - 5 (後書き)

次回、壁の間。

マリオチームの挑戦3 - 1 (前書き)

壁の間の登場!!

## マリオチームの挑戦3 - 1

3rd STAGE

壁の間

マリオチームの挑戦

挑戦するのは、マリオ、リリカルショーバイ、翡翠煉の3人。

ミカズキにより、1人1人連れて行かれ、3人は、フックで動きを制限された。

ミカズキ「頑張ってるね。」

『目隠しを外してください。』

マリオ「……うわ、何だ、これ……工場？」

翡翠煉「うわ……迫って来る奴だ……。」

モニターに管理人が出てくる。

リリカルショーバイ「あつ、管理人だ……。」

管理人「マリオチームの皆さん、ようこそ壁の間へ〜!!」

リリカルショーバイ「壁の間ですか？」

管理人「その通り〜!!君達は、ここで脱出をして貰います!!」

マリオ「俺は、てっきり工場の間かと思ったんだが……。」

管理人「壁の間です!!さて、翡翠煉は、逃走中や密告中などたくさん作品を書いているね、どう?やっぱりあれだけあると大変じゃない?」

翡翠煉「大変ですけど……根性でカバーします!!」

管理人「う〜ん、良いねえ。そして、リリカルショーバイ、こちらも逃走中の作品だね。」

リリカルショーバイ「あつ、ハイ。」

管理人「何作品も書いているなんて凄いなあ。この小説の作者はいつまで2作品目を書いているんだろうね。」

3人「……。」

管理人「あつ、どうでも良かった?空気が重くなったので、ルールの方を説明します!!」

この部屋を脱出するには、徐々に壁が狭まるクイズゾーンにて2択クイズを5秒以内に解答してもらいます。

アンサーボックスの壁の中にある2つのボタンで選択。

他の人の解答はオープンするまで分かりません。

全員正解で1ポイント、3ポイント獲得で壁が一時停止し、ランダムで1人のフックが開錠されます。

その後、チャレンジゾーンでキーボックスチャレンジに挑みます。

キーボックスチャレンジ終了後は再び残った者で3ポイントを稼いで貰います。

そのキーを3本差し込むことができれば脱出成功となります。

管理人「それじゃあ、頑張って脱出してください。幸運を祈ります。バイバイ！！」

ブツッ

管理人が、モニターから消える。

マリオ「あいつ逃げたな……。」

『ビーコン！！ビーコン！！ビーコン！！』

赤いランプが部屋中に響き渡った。

脱出開始。

リリカルショーバイ「いきなり始まるんですね……。」

『アンサーボックスに手と顔を入れてください。』

マリオ「よっしゃ〜!!! 気合、入ってきた!!!」

翡翠煉「マリオさん、問題解けますか？」

マリオ「勿論だとも!!!」

リリカルショーバイ「頑張りましょう!!!」

果たして、3人で脱出成功となるか？

## マリオチームの挑戦3 - 1 (後書き)

次回からは、2択問題が大量に・・・。

## マリオチームの挑戦3 - 2 (前書き)

いよいよ壁の間がスタート。

## マリオチームの挑戦3 - 2

3m迫る前に問題を答えられるか？

『壁が動き始めます。』

ゴゴゴゴ。。。。

マリオ「うわっ！？もう動いているのかよ！？」

翡翠煉「結構、速い。。。。」

『問題、「せんもんか」を漢字で書くと？

A：専門家

B：専門家

リリカルショーバイ「こっち！！」

5

4

翡翠煉「これだよ。。。。」

3

2

1

マリオ「勘!!」

『テレン』

マリオ：A、翡翠煉：A、リリカルショーバイ：A

『正解は、A（専門家）です。』

マリオ「よっしゃ!!」

『ピンポン』

翡翠煉「間違えやすいなあ……。」

『1ポイント獲得です。』

リリカルショーバイ「この調子で行きましょう……。」

『問題、江戸幕府初代将軍は?』

A：源頼朝

B：徳川家康

5

リリカルショーバイ「こっちですね。」

翡翠煉「これ、簡単だな……。」

4

3

2

マリオ「分からん……。勘だ!!」

『テレン』

マリオ：A、翡翠煉：B、リリカルショーバイ：B

マリオ「あら……?」

『正解は、B（徳川家康）です。』

『ブー!!』

マリオ「悪い!!」

翡翠煉「これくらい知っててくださいよ……。」

ちなみに、源頼朝は、鎌倉幕府初代将軍。

~~~~~

ルイージ「兄さん、こんなのも知らないの？」

ガノンドロフ「あいつの教育・・・どうなってんだ。」

~~~~~

『問題、素数はどっち？』

A：1

B：2

5

マリオ「素数って何だよ？食べ物？勘！！」

4

リリカルシヨバイ「こつち・・・？」

翡翠煉「こつちは多分違うから・・・こつちか？」

3

2

1

『テレン』

マリオ：B、翡翠煉：B、リリカルショーバイ：B

『正解は、B(2)です。』

マリオ「俺、勘が良い〜!」

『1ポイント獲得です。』

リリカルショーバイ「あと1ポイントで、壁が止まりますね。」

残り距離 2m40cm

『問題、大きいのはどちらでしょう?』

A：5 / 3

B：7 / 4

5

リリカルショーバイ「え〜と……。」

マリオ「分数かよ……。」

4

3

2

翡翠煉「こつち!」

リリカルシヨールバイ「多分……これ。」

マリオ「計算が間に合わない……勘!」

『テレン』

マリオ：A、翡翠煉：A、リリカルシヨールバイ：B

『正解はB(7/4)です。』

マリオ「あ……。」

『ブブー!』

翡翠煉「あ……すみません……。」

5/3は、1.666……

7/4は、1.75

『問題、魚の『たら』を漢字で書くと?』

A：鱧

B：鱈

5

4

リリカルショーバイ「こっちなな・・・？」

翡翠煉「春と雪・・・どっちかなあ？こっちなな・・・？」

3

2

マリオ「勘！！」

1

『テレン』

マリオ：B、翡翠煉：B、リリカルショーバイ：B

マリオ「OK！！」

『正解は、B（鱈）です。』

ちなみに、Aは鱈<sup>いわし</sup>。

ガコンツ！！

『3ポイント獲得したため、壁が一時停止します。』

残り距離2m10cm

リリカルショーバイ「かなり近い……。」

『1人分のロックが解除されます。』

翡翠煉「誰かな？」

リリカルショーバイ「マリオさんは問題を答えるのが苦手みたいですから……。マリオさんが良いですねえ。」

マリオ「俺も、そう思う。」

ピーーーーガチャッ

マリオ「よっしゃ俺だああ！！来たあああ！！」

『マリオさん、キーボックスチャレンジスタートです。』

翡翠煉「頑張ってください！！」

マリオ、キーボックスチャレンジ成功となるのか？

## マリオチームの挑戦3 - 2 (後書き)

2 択問題も作るのが結構難しいんだ・・・。

### マリオチームの挑戦3 - 3 (前書き)

マリオ、キーボックスチャレンジ成功となるか？

### マリオチームの挑戦3 - 3

キーボックスチャレンジ

ボックスの中の筒にある脱出口の解除キーを2本の特殊アームを使って隣の筒へ移して取り出す。

その解除キーを通路の真ん中あたりにある「1」「2」「3」と書かれている鍵穴に一人最低1つ数字の順番どおりに差し込んで回す。ただし、入ってから30秒経つとチャレンジゾーンの壁が急速に狭まり押しつぶそうとするため、迅速にセーフティゾーンへ行かなければならない。

マリオ「行くぜ〜!!!」

リリカルシヨールバイ「頑張ってください。」

翡翠煉「ファイト!!!」

「キーボックスチャレンジスタートです。」

チャレンジゾーンへの扉が開き、キーを取るための特殊アームを持つマリオ。

マリオ「緑の奴……。これだな……。」

アームを持つ手が震えるマリオ。

マリオ「よし、何とか持ち上げたぞ……。」

『残り20秒前』

マリオ「これを持って行って……。」

隣りの筒に移そうとするマリオ。

マリオ「あっ!?!」

落としてしまった。

マリオ「ヤベエ!?!」

パニック状態になるマリオ。

『残り10秒前』

翡翠煉「頑張ってください!?!」

新たに出てきたキーを再びアームで掴むマリオ。

マリオ「よし、掴めた。……これを。」

ゆっくりと隣りの筒の上に移動させる。

マリオ「これを……えい!?!」

キーが見事に入る。

マリオ「よっしゃー!!」

だが、30秒経ってしまったため、壁がどんどん迫って行く!!

マリオ「うわあああ!!?」

キーを掴み、1の鍵穴に差し込むマリオ。

ガチャッ

マリオ「よし!!...う...」

リリカルシヨール「あつ、マリオさん!!」

翡翠煉「あ...これ、まさか...」

マリオ「2人共、ゴメン!!後、頑張ってくれ!!」

ガシャン!!!

2人の視界からマリオの姿が消えた...

『マリオさん、脱出失敗です。』

~~~~~

小河「うわあ...マリオが...」

ゆうやん「マリオさん...キーは、間に合っただけですかね?」

~~~~~

翡翠煉「嘘だろ〜・・・。」

リリカルシヨーバイ「・・・あと、ちょっとだったのに・・・。」

『しかし、キーは刺さっているため、キーは残り2本です。』

リリカルシヨーバイ「キーは差ししてくれたんですね・・・。」

翡翠煉「キーだけじゃ嫌だよ・・・マリオさん・・・。」

キーは差し込んだが、後が間に合わなかったマリオ、脱出失敗!!

チャレンジゾーンの壁が再び開いた時、そこにマリオの姿は無く1本の緑のキーだけが差さっていた。

翡翠煉「マリオさん、いなくなってる・・・。」

『再び、壁が動き始めます。』

リリカルシヨーバイ「も、もう始まるんですか・・・。」

翡翠煉「マリオさんの分まで頑張らないと・・・。」

果たして、脱出成功となるか!?



マリオチームの挑戦3 - 3 (後書き)

残り2人・・・果たして、どうなるのか・・・。

マリオチームの挑戦3 - 4

(前書き)

すみません、短いです・・・。

## マリオチームの挑戦3 - 4

『問題、画数が多い漢字はどちらでしよっつ。』

A：四

B：五

5

翡翠煉「え〜と・・・。」

リリカルシヨーバイ「・・・。」

4

3

翡翠煉「こっち!！」

リリカルシヨーバイ「ハイ、こっちですね。」

2

1

『テレン』

翡翠煉：A、リリカルショーバイ：A

『正解は、A（四）です。』

リリカルショーバイ「良かった……。」

『ピンポン』

翡翠煉「壁が近い……。」

『1ポイント獲得です。』

~~~~~

ルイージ「この問題は、兄さんでも分かったかもね。」

ガノンドロフ「いや、そのくらいは、知ってなければおかしい。」

シドリライター「マリオさんの最終学歴は？」

ルイージ「僕と同じでキノコ大学を卒業したよ。」

ワリオ「大学！？マジか!？」

ルイージ「スポーツ推薦で行ってたよ。」

ファルコン「成る程……。」

~~~~~

『問題、江戸時代が始まった年は？』

A：1600

B：1603

翡翠煉「あら？どっちだっけ？」

5

4

3

リリカルシヨーバイ「こっち・・・ですよね？」

2

1

『テレン』

翡翠煉：B、リリカルシヨーバイ：B

『正解は、B（1603）です。』

翡翠煉「よし、あと1ポイント！..」

『ピンポン』

『2ポイント目獲得です。』

『問題、八代海沿岸でおこった、4大公害病の一つはどちらでしょう？』

A：水俣病

B：イタイイタイ病

5

4

翡翠煉「えっ？」

リリカルショーバイ「……。」

3

2

1

『テレン』

翡翠煉：B、リリカルショーバイ：B

『正解は、A（水俣病）です。』

翡翠煉「あらら・・・。」

リリカルシヨールバイ「お互いに間違えましたか・・・。」

『問題、山地が沈降してできた複雑な海岸は？』

A：三角州

B：リアス式海岸

5

翡翠煉「何だっけ・・・。」

リリカルシヨールバイ「こっちなあ・・・。」

4

3

2

1

『テレン』

翡翠煉：B、リリカルシヨールバイ：B

『正解は、B（リアス式海岸）です。』

リリカルシヨールバイ「これで、3ポイントですね。」

ガコンツ！！

『3ポイント獲得したため、壁が一時停止します。』

残り距離1m50cm

リリカルシヨールバイ「さつきより近い……。」

『1人分のロックが解除されます。』

ピーーーーガチャツ

翡翠煉「あゝ、取れちゃった……。」

『翡翠煉さん、キーボックスチャレンジスタートです。』

リリカルシヨールバイ「頑張ってくださいね!!！」

翡翠煉「う、うん……。」

翡翠煉、キーボックスチャレンジ成功となるのか？

マリオチームの挑戦3 - 4 (後書き)

壁の間、結構、書くのが大変です。

遺跡の間の方が楽だったかも・・・。

マリオチームの挑戦3 - 5 (前書き)

最近、DERO!放送され無いなあ・・・。

## マリオチームの挑戦3 - 5

『キーボックスチャレンジスタートです。』

翡翠煉「行くぜ!!」

ドアが開き、長いアームを持つ翡翠煉。

翡翠煉「……。」

取り出そうとするが、中々、掴めない。

翡翠煉「あつ……。。」

思わず、キーを落とす翡翠煉。

だが、次のキーが出て、すぐさま掴む翡翠煉。

『残り20秒前』

リリカルシヨバィ「……頑張ってください!!」

翡翠煉「うっ……。」

キーを掴み、隣の筒に移そうとする翡翠煉。

翡翠煉「おっ……。いけるか……?」

キーが曲がり、上手く落とせない。

翡翠煉「わっ!?!」

再び、落としてしまった。

『残り10秒』

翡翠煉「くそ!!!」

焦る翡翠煉。

翡翠煉「ならば、ここをこうやって……。」

キーを掴み、隣の筒の上に持って行き、そして……

翡翠煉「よし!!!」

キーが入ったが、30秒経ってしまい壁が翡翠煉に迫る……。

翡翠煉「ヤベッ!!!ヤベッ!!!」

キーを掴み、2の鍵穴に差し込む翡翠煉。

ガチャッ

翡翠煉「OK……これで、俺はミッションクリアってか……。」

身動きが取れないまま笑う翡翠煉。

リリカルシヨーバイ「えっ!? ちょ．．．1人に．．．」

ガシャンッ!!

『翡翠煉さん、脱出失敗です。』

リリカルシヨーバイ「ちょっと待ってよ．．．」

~~~~~

ゆうちゃん「ヤバ．．．煉が．．．」

D・JUN「．．．」

~~~~~

『しかし、キーは刺さっているため、キーは残り1本です。』

リリカルシヨーバイ「煉さんもキーは差してくれたんですね．．．」

┌

懸命の努力もあと1歩及ばず!! 翡翠煉、脱出失敗!!

チャレンジゾーンの壁が再び開いた時、そこに翡翠煉の姿は無く2本の緑のキーだけが差さっていた。

リリカルショーバイ「何で皆、キーしか残してくれないんですか・  
・？」

残念そうに俯うつむくリリカルショーバイ。

~~~~~

ファルコン「あと1人か……。」

さきばん「リリショーさん、頑張つて!!」

ミカズキ「2人の分まで……ですよね。」

~~~~~

リリカルショーバイ「……。」

放心状態のリリカルショーバイ。

『再び、壁が動き始めます。』

リリカルショーバイ「……あ、早く、答えないと……。」

アンサーボックスに顔と手を入れるリリカルショーバイ。

果たして、2人の気持ちを背負い脱出成功となるのか!?

マリオチームの挑戦3 - 5 (後書き)

リリカルショーバイの結末は・・・果たして・・・。

## マリオチームの挑戦3 - 6 (前書き)

震災の影響のため、小説をわざとしばらく更新しませんでした。

広島県から皆さんのご無事を願っております。

## マリオチームの挑戦3 - 6

『問題、夢の部首はどちらでしょう？』

A：くさかんむり

B：ゆづべ

5

リリカルショーバイ「考えたことなかったですね……。」

4

3

リリカルショーバイ「こつちですかね……。」

2

1

『テレン』

リリカルショーバイ：A

『正解は、Bさくです。』

リリカルショーバイ「あちゃあ……。」

『ブブー!!』』

『問題、1年の内、一番昼の時間が長い日をなんと言つてでしょう?』

A：夏至

B：冬至

5

4

リリカルショーバイ「こつちだと思つんですが、なんか不安になりますね。」

3

2

1

『テレン  
』

リリカルショーバイ：A

『正解は、A（夏至）です。』

リリカルショーバイ「よし、よし……。」

『ピンポン』

『1ポイント獲得です。』

『問題、16世紀日本に初めて鉄砲が伝わったとされる島はどこら  
でしよう?』

A：鹿児島

B：種子島

5

リリカルショーバイ「……。」

4

リリカルショーバイ「こっちですよ……。」

3

2

『テレン  
』

リリカルシヨーバイ：B

『正解は、B（種子島）です。』

リリカルシヨーバイ「OK・・・。」

『ピンポン  
』

『1ポイント獲得です。』

~~~~~

さきぼん「やった！！これで、あと1ポイント！！」

小河「頑張れ〜！！」

~~~~~

『ソプラノリコーダーで全ての穴をふさいで吹くと出る音階はどち  
ら？』

A・・・

B・・・

リリカルショーバイ「リコーダー、懐かしいですね……。」

4

3

2

リリカルショーバイ「こっち……よね?」

2

1

『テレン』

リリカルショーバイ：A

『正解は、A<sub>下</sub>です。』

リリカルショーバイ「よし……。」

『ピンポン』

ガコンッ!!

『3ポイント獲得したため、壁が停止します。』

残り距離70cm

リリカルシヨールバイ「近い、近いって……。」

『ロックが解除されます。』

ピーーーーガチャツ

リリカルシヨールバイ「ついに、私の番が……。」

『リリカルシヨールバイさん、キーボックスチャレンジスタートです。』

『

リリカルシヨールバイ、キーボックスチャレンジ成功となるのか？

そして、脱出成功となるのか！？

マリオチームの挑戦3 - 6 (後書き)

次回、いよいよマリオチームの壁の間が終了!!

マリオチームの挑戦3 - 7 (前書き)

DERO!は、最近、放送されませんが・・・小説ではまだまだ現役ですよ!!

### マリオチームの挑戦3 - 7

リリカルシヨールバイ「ああ、ここは狭い……。早くチャレンジさせて……。」

『キーボックスチャレンジスタートです。』

リリカルシヨールバイ「ああ……。狭かった……。」

ドアが開き、長いアームを持つリリカルシヨールバイ。

リリカルシヨールバイ「意外と重いんですね……。」

キーを掴むリリカルシヨールバイ。

しかし、思うように掴めない。

『残り20秒前』

リリカルシヨールバイ「……え!!!もう!?!」

ようやくキーを掴み、隣の筒に移そうとするリリカルシヨールバイ。

リリカルシヨールバイ「わっ……。」

ガコンという音が聞こえて持っていたキーが曲がる。

リリカルシヨールバイ「ヒエ……。」「

そのまま曲がったままキーを動かすリリカルショーバイ。

『残り10秒』

~~~~~

ゆうやん「頑張れ!!そこだ、そこ!!」

D・JUN「あのプレッシャーはキツイですよ……。」

~~~~~

リリカルショーバイ「入って……。」

アームを使い、そっとキーを動かすリリカルショーバイ。

そして

キーが入った。

リリカルショーバイ「よし!!」

ガッツポーズをするリリカルショーバイ。

キーを掴んだその瞬間、30秒が経ち、壁が動き始めた。

リリカルショーバイ「ウワワ……。」

3の鍵穴に差し込むリリカルショーバイ。

ガチャッ

壁がリリカルシヨールバイに迫る。

リリカルシヨールバイ「うわああ……。。」

そして、

リリカルシヨールバイ「つ、着いた!!!」

セーフティゾーンに到着。

その瞬間、壁が完全に閉まる。

リリカルシヨールバイ「危なかった……。。」

『これでキーが3つ差し込まれました。ステージクリアです、おめでとございます、脱出成功です。』

リリカルシヨールバイ「良かったあ……。。」

~~~~~

マリオチーム「やったあ!!!」

スネーク「あれは、中々、難しそうだな……。。」

~~~~~

リリカルシヨールバイ、見事、脱出成功！！

マリオチーム1ポイント獲得！！

リリカルシヨールバイ「2人の分のプレッシャーは大きかったなあ……。。」

そう言うと、ドアを開け出て行った。

サポートルーム

管理人「いや〜、お疲れちゃん！！最後のあの時はどうだった？」

リリカルシヨールバイ「やっぱり、2人分のプレッシャーは重かったですね……。。」

管理人「分かるよ、その気持ち。でも、俺は何人もプレッシャーにも対応出来るよ！！。」

翡翠煉「どうやって対応してるんですか？」

管理人「慣れさ。」

マリオ「スベるのが怖いんだろ？」

管理人「違う！！違う！！クイズ、全部、勘で答えたマリオに言われたくない！！」

マリオ「運も実力のうちだもんねー。」

管理人「あゝ、腹立つ〜。」

ルイージ「兄さん、何度も言っけど自慢するレベルじゃないよ……」

管理人「まあ、とりあえず、次はスネークチームの挑戦だ！！頑張っつてね〜！！」

マリオチーム4ポイント

スネークチーム2ポイント

マリオチームの壁の間が終わり、ポイント差は2ポイントに。

スネークチーム、逆転となるか〜！？

マリオチームの挑戦3 - 7 (後書き)

次回、スネークチームが壁の間に挑戦!!

スネークチームの挑戦3 - 1 (前書き)

久々の更新です・・・。

すみません。

## スネークチームの挑戦3 - 1

3rd STAGE

壁の間

スネークチームの挑戦

挑戦するのは、ワリオ、シドリレイター、ikkiiの3人。

ミカズキにより、1人1人連れて行かれ、3人は、フックで動きを制限された。

ミカズキ「スネークチームも頑張ってね。」

『目隠しを外してください。』

シドリレイター「おっ・・・ここかあ。」

ワリオ「眩<sup>まぶ</sup>しいな・・・。」

モニターに管理人の顔が映った。

管理人「スネークチームの皆さん、ようこそ壁の間へ!!!」

ワリオ「あつ、管理人、総合的に言えば、俺様達が最後の挑戦にな  
ってるぞ!!!」

管理人「何だよ……どうしても最後になる人だっているだろ？我慢してくれよ。」

ワリオ「フンガ〜……。」「

管理人「シドリライターは、バイオハザード小説、ikkkiはスマブラ小説を書いているようだね!!」

ワリオ「フンガ〜!!無視するな!!」

フックを噛むワリオ

シドリライター「ワ、ワリオさん、落ち着いて。」

ikkki「反則になっちゃいますよ。」

管理人「ワリオ、そんなに怒ったら女性に好かれないよ。」

ワリオ「もう既に好かれてない!!」

~~~~~

k「ワリオ、キレてる……。」「

スイツクン「怖……。」「

ワリオ「確かに俺にはピーチ、ルイーダにはデイジーだから……。」「

ファルコン「キーボックスチャレンジには、短気なあいつには向い

てないかもな……。」

スネーク「俺が出た方が良かったな……。」

~~~~~

シドリレイター「今は、冷静ですけどパニックにならないように頑張りたいですね。」

ikkii「ワリオさんを怒らせないように頑張りたいです……。」

管理人「2人共、そんなに怖がらなくても良いよ。攻撃は届かないから。」

ワリオ「オナラするぞ〜!!」

シドリレイター・ikkii「ちょ、ちょっと……。」

管理人「絶対にするなよ!!ともかく、チームワークを大切に!!  
分かった?それじゃ、バイバイ」

ブツッ

ikkii「ああっ、置いていかないで……。」

『ビーコン!!ビーコン!!ビーコン!!』

赤いランプが部屋中に響き渡った。

脱出開始

ワリオ「クツ．．．オナラは我慢するか。」

シドリライター「助かった．．．。」

『アンサーボックスに手と顔を入れてください。』

ワリオ「ワリオには負けんぞ!!！」

シドリライター「ワリオさんのテンション．．．高いなあ。」

ikkii「あつ、クイズがあるんですけどね．．．。さっきの騒動で忘れてた．．．。」

果たして、3人で脱出成功となるか？

### スネークチームの挑戦3 - 1 (後書き)

あゝ、DERO!復活して欲しいなあ・・・。

けど、モバゲーのDERO!はまだあるので復活の可能性は十分ありますね。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2759q/>

---

スマブラ×脱出ゲームDERO!

2011年6月27日17時32分発行